
ワーク・ライフ・バランス メールマガジン

カエル！ジャパン通信 Vol.246 令和7年11月28日

発行：内閣府 仕事と生活の調和推進室

<<<今号の目次>>>

1. 取組紹介

“痛み”に寄り添う企業風土を目指して ～『Believe PROJECT』を推進
エスエス製薬株式会社

2. 最新情報

《お知らせ》 2件

《地方公共団体等の動き》 11件

※内閣府男女共同参画局 HP「カエル！ジャパン」通信では、本文の内容を画像付きでご紹介しております。ぜひご覧ください。

<https://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/index.html>

■□■ 1. 取組紹介 ■□■

“痛み”に寄り添う企業風土を目指して ～『Believe PROJECT』を推進
エスエス製薬株式会社

会社名 エスエス製薬株式会社（英文：SSP Co., Ltd.）

事業内容 医薬品、医薬部外品、食品等の製造・販売

本社所在地 東京都新宿区

社員数 373名（2025年5月末時点）

近年、社会全体で女性の活躍が注目されるようになりましたが、依然として女性が日々感じる負担が見えにくい場面も少なくありません。エスエス製薬は、自社ブランドに込めた想いを広げ『Believe PROJECT』を発足。今回は Believe PROJECT 推進室の平川さんにお話を伺いました。

■見えない痛みに寄り添い、誰もが働きやすい職場へ

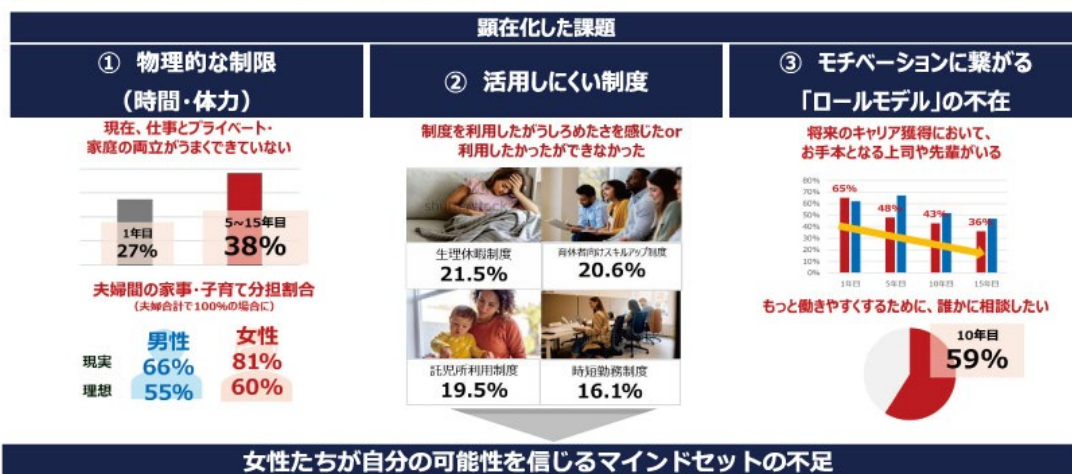
『Believe PROJECT』（以下、本プロジェクト）は、エスエス製薬（以下、当社）の解熱鎮痛薬ブランド「EVE」が大切にしている「痛みに寄り添う」という想いをもとに、2024年3月8日の国際女性デーに合わせて発足しました。本プロジェクトは、生理痛や頭痛といった身体の痛みだけでなく、社会の中で見えにくい“心の痛み”と向き合う女性た

ちを応援することを目的としています。

推進体制としてマーケティング本部の EVE ブランドを中心に進めていますが、単なるブランド活動にとどまらず、社内制度の導入など全社的な取組へと広がっています。具体的には、性別を問わずすべての社員が安心して働けるよう、家事代行手当や育休取得者チームへの手当など、誰もが利用できる支援制度を導入しています。こうした制度は、女性支援に限定されるものではなく、全社員が自分らしいワーク・ライフ・バランスを実現し、キャリアを継続・発展させることを目的としています。これらの取組はジェンダーの枠を超え、国籍や文化、背景など多様性を尊重しながら組織の力を高めていくという当社のグローバルな方針とも一致しています。

働く女性の活躍を取り巻く課題

株式会社有明電機は、この世界の未来を、
BeliEVE



女性たちが自分の可能性を信じるマインドセットの不足

EVE

販路開拓：H&M マーケティンググループ 2024年1月20日(月)～2024年2月2日(金)
インターネット調査 対象：22～64歳 男女比率約47/53

BeliEVEPROJECT 資料より

■社員の声から生まれた制度が、働く人の“安心”を支える

本プロジェクトの大きな特徴は、制度づくりの段階から社員が主体的に関わっていることです。プロジェクトチームは、育児中の当事者を中心にボランティアで集まった社員と、EVE ブランドチームの協働によって構成されました。制度化にあたっては、全社員を対象に「日常的に負担を感じる瞬間」や「あると助かるサポート」などについてアンケートを実施し、現場の声を反映しながら具体的な支援策を検討していきました。

導入後の社員の反応は非常に好意的で、特に家事代行手当については81%が「満足（非常に満足＋満足の合計）」と回答し、仕事と家庭の両立を支える制度として高い評価を得ています。また、「BeliEVE Mentoring Program」では参加者の100%が満足と回答し、「子どもと過ごす時間が増えた」「家に帰ってからの“やることリスト”に追われるストレスから解放された」といった声が寄せられています。

さらに、メンターとの対話を通じて「キャリアの悩みを率直に話すことができた」「メンター自身の経験が参考になった」との意見も多く、制度が単なる支援にとどまらず、社員一人ひとりの前向きな行動や意識変化を促していることがうかがえます。

BeliEVE Mentoring Program やライフアドバイスクラブなどにより生まれた効果

- キャリアに対する不安や悩みの解消
- 自身のキャリアを相談しやすい環境の構築
- 社内外のロールモデルとの出会いの機会創出
- 横のつながりの強化による相互サポート体制の確立

■制度を「知り」「使う」ことで広がる支え合いの輪

制度の利用については、家事代行制度が多くの人に利用される一方で、シッター制度は初回利用への不安が課題となっていました。そこで、社内イントラネットや説明会を通じて制度の内容や利用方法、利用者の体験談を共有し、無理のない範囲での利用促進を図っています。

育休取得者が所属するチームのメンバーに対する手当支給制度は、育休を取得することによる後ろめたさを軽減し、チーム全体で育児と仕事の両立をサポートする文化を醸成することを目的としています。制度導入後、実際に育休取得した方の数が多くないため、数値的な結果はございませんが、育休取得者の心理的負担の軽減・チームメンバーの協力意識の向上など全体として職場の雰囲気が改善し、育児と仕事の両立がしやすい環境が整ってきていると考えています。

■制度ではなく、文化として根付かせる

本プロジェクトでは、制度を整えることを目的とするのではなく、それを活用し、職場文化として根付かせることを目指しています。制度を利用した社員の体験談を共有し、ロールモデルを可視化することで「自分も使っている」という意識を広げています。また、メンタリングやライフアドバイスクラブを通じて、立場を超えて不安や経験を分かち合える場を設け、支え合う風土を育んでいます。

こうした取組に加え、当社の特徴も活かし、製薬外資としてグローバルレベルでジェンダーギャップの解消に積極的に取り組むと同時に、日本特有の文化や慣習に根付く家事・育児の負担にも目を向け、ローカル施策を展開しています。今後は、現活動を継続しながら、ジェンダーや国籍など多様性を主眼に置いた採用戦略や、カルチャー醸成のための社内イベントを定期的実施していく予定です。

【データでみるエスエス製薬株式会社（2025年6月末時点）】※日本のみ

- ・平均年齢 44 歳
- ・男女比率 男性 68%、女性 32%
- ・女性管理職比率 35%（課長職以上）
- ・育児休業取得率 女性 19 名、男性 4 名

■□■ 2. 最新情報 ■□■

《お知らせ》

【文部科学省】

■NWEC 図書パッケージ貸出サービス 2026 年度 年間パッケージ申込受付中

国立女性教育会館（NWEC）は、大学、女性関連施設、公共図書館、高校、企業などの機関・団体を対象に、2026 年度「年間パッケージ貸出サービス」の申込を受け付けています。

NWEC で選定した図書 80 冊を、3 か月ごとに利用機関間で入れ替えて、1 年間ご利用いただけるサービスです。高校・高等専門学校へは 50 冊を 6 か月ごとに入れ替えます。

お申し込みをお待ちしております。

・申込締切：12 月 19 日（金）

<https://www.nwec.go.jp/database/lease/PKGservice.html>

【厚生労働省】

■労働契約等解説セミナー 開催中

事業主・人事労務担当者・労働者の皆さまに向けて労働関係法令の基礎、無期転換ルール、副業・兼業のガイドラインをわかりやすく解説。オンライン・講師派遣・個別相談など多様な形式で実施しています。

<https://roukeiseminar.mhlw.go.jp>

《地方公共団体等の動き》

各事業の詳細はそれぞれの地方公共団体等にお問い合わせください。

なお、以下の内容は、地方公共団体等の HP の内容を引用したものです。

【北海道】札幌市

名称：#SAPPORO DIVERSITY FORUM 「防災」と「家事シェア」ってつながってる？ ～“もしも”に強い家族は、“いつも”からつくられる～

日時：令和 7 年 12 月 20 日（土） 13:30～15:00

場所：札幌 PARCO 5 階 無印良品 イベントスペース（札幌市）

URL：https://www.danjyo.sl-plaza.jp/event_post/sapporo-diversity-forum-bousai-kajishea/

名称：#SAPPORO DIVERSITY FORUM なぜ長時間労働はなくなるのか～形だけの働き方改革を脱却する～

日時：令和8年1月14日（水） 13:30～15:00

場所：札幌エルプラザ 2階 会議室1・2（札幌市）

URL：https://www.danjyo.sl-plaza.jp/event_post/sapporo-diversity-forum25/

【栃木県】

名称：アサーティブ・トレーニング講座

日時：令和8年1月17日（土） 10:00～15:00

場所：パルティ とちぎ男女共同参画センター（宇都宮市）

URL：https://www.parti.jp/kouza/index_kou10.html

【富山県】

名称：煌めく女性リーダー塾 オンライン公開講演会

日時：令和7年12月18日（木） 13:30～14:45

場所：オンライン（Zoom）

URL：<https://www.sunforte.or.jp/event/svEveDtl.aspx?servno=1271>

【山梨県】

名称：男女共同参画×多文化共生ぴゅあフェスティバル 2025

日時：令和7年12月13日（土） 10:00～15:00／令和7年12月14日（日） 10:00～15:00

場所：山梨県立男女共同参画推進センターぴゅあ総合（甲府市）

URL：<https://www.pref.yamanashi.jp/challenge/file/6908339a3ee04.pdf>

【静岡県】

名称：【上野 千鶴子氏 登壇】令和7年度 三島市男女共同参画講演会 「私たちはどう生きるか～ジェンダー平等のためにあなたができること」

日時：令和8年1月11日（日） 14:00～15:30

場所：順天堂大学保健看護学部 三島キャンパス（三島市）

URL：https://www.azarea-navi.jp/event/20260111_mishimashi_ueno/

【京都府】京都市

名称：男性のための“がんばらない”コミュニケーション「今！ぼくのコミュニケーション論」

日時：令和7年12月21日（日） 13:30～15:30

場所：京都市男女共同参画センター ウィングス京都（京都市）

URL : <https://www.wings-kyoto.jp/event/event-all/menstalk2512.html>

【兵庫県】

名称：女性のための働き方セミナー「仕事に役立つアサーションを身につける」

日時：令和7年12月19日（金） 13:30～15:30

場所：兵庫県立男女共同参画センター セミナー室（神戸市）

URL : <https://hyogo-even.jp/seminar/1219assertion.html>

名称：女性のための働き方セミナー「人づきあいがラクになる職場のコミュニケーション術」

日時：令和8年1月15日（木） 10:00～12:00

場所：兵庫県立男女共同参画センター セミナー室（神戸市）

URL : <https://hyogo-even.jp/seminar/0115commu.html>

【佐賀県】

名称：この時代をより生きやすくする プレコンセプションケア「男子も知らない男子のトリセツ」

日時：令和7年12月20日（土） 13:30～16:00

場所：佐賀商工ビル 7F 大会議室（佐賀市）

URL : https://www.avance.or.jp/danjyo/_2790/_5511.html

名称：この時代をより生きやすくする プレコンセプションケア「女子が知らない女子のトリセツ」

日時：令和8年1月11日（日） 13:30～16:00

場所：佐賀商工ビル 7F 大会議室（佐賀市）

URL : https://www.avance.or.jp/danjyo/_2790/_5511.html

【編集後記】

厚生労働省「令和6年度雇用均等基本調査」によると、2024年度の男性の育休取得率は40.5%と過去最高でした。前年度の30.1%と比較しても大幅に上昇しています。背景には、男性が柔軟に育休を取得できる「産後パパ育休」の創設をはじめ、国や自治体の育休取得推進の取り組みが大きく影響していると考えられます。

とはいえ、まだまだ育休を取得しない男性は少なくありません。男性が育休を取りづらい理由の一つとして「収入が減る」や「昇進・昇格に影響する」のほかによく聞かれるのが、「同僚や上司に迷惑をかける」というものです。そこで近年、育休取得者の後ろめたさや申し訳なさを軽減するために、取得者をサポートする同僚に手当を支給する企業が増えてい

ます。今回取材したエスエス製薬も、手当支給制度をいち早く取り入れた企業の一つです。

厚生労働省は、「兩立支援等助成金」の「育休中等業務代替支援コース」において、こうした企業の取組を後押ししています。同コースは、事業主が育休取得者や短時間勤務制度利用者の業務を代替する従業員に手当を支給する場合や、育休取得者の業務を代替する従業員を新規雇用した場合を助成の対象としています。

同助成金の詳細は、下記のリーフレットでご確認ください。

■厚生労働省「育児休業や短時間勤務の利用期間中の業務代替を支援します」

<https://www.mhlw.go.jp/content/001472912.pdf>

本メールは送信専用メールアドレスから配信されております。

御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<https://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<https://wwwa.cao.go.jp/wlb/index.html>